

# 三木みらい会議 細川地区のまとめ

① 三木市の自慢や課題		② どんな地域にしたいという夢	③ ②で出た夢を実現する上で、地域でできること	④ 地域の思い
<p>&lt;自慢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然が豊か。</li> <li>• 地域の人たちで助け合いができる。</li> <li>• 蛭が多く生息している。</li> <li>• お水、お米がおいしい。</li> <li>• 田んぼ、山が多く、子どもたちが安心して遊べる。</li> <li>• 地区によっては小学校からの繋がりで小・中学生で外で遊ぶ。</li> <li>• 地域に愛着を持っている方が多い。</li> <li>• 高速道路が2本あり、車さえあれば便利。</li> <li>• 高速バスがあり便利。</li> <li>• 鉄道がある</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用地の決まりがあって住宅が建てられない。</li> <li>• 下水道が通っていない。</li> <li>• 浄化槽の設置費用が余分にかかるので、新しいお店を開店しにくい。</li> <li>• 浄化槽を設置しなければならぬので新築の家を建てにくい。</li> <li>• 浄化槽の点検費用が大きい負担になっている。</li> <li>• 公共交通が不便</li> <li>• 高校生の交通手段が自転車なので、登下校時は危険かつ不便。</li> <li>• 若い人が住みにくい。</li> <li>• 高齢の方が孫を学校まで送迎しなければならず、免許を返納できない。</li> <li>• 公園が近くに無い。</li> <li>• 避難場所の位置が危険、開設状況も分からない。</li> <li>• 堤防が弱くなっているため池が多い。</li> <li>• 吉川、細川といった北部地域は人口減少が著しい。</li> <li>• 消防団、草刈等の地域行事が面倒</li> <li>• 移住したら皆優しくしてくれるが、移住するためのハードルが高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い人、子育て世代が住みやすいまち。</li> <li>• 若い人が市外に行かないまち。</li> <li>• 地域に学校を残す。</li> <li>• 若い人が帰ってくるまち。</li> <li>• 多世代が交流できるまち。</li> <li>• 特色ある教育等、教育の中心となるまち。</li> <li>• 移住してでも通わせたいと思える学校があるまち。</li> <li>• 子育てキャラバン、コミュニティの中心など、地理的に中心であることを活かした施設があるまち。</li> <li>• ゴルフが教育課程に入っているまち。</li> <li>• 地域の意見が反映されるまち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 白タクの活用をすすめる。</li> <li>• ファミリーサポートセンターの運営に地域のお年寄りも活用する。</li> <li>• 農業をやりたい若者は多いので、農業をやりたい人と農業を任せたいお年寄りとのマッチングを行う。</li> <li>• 都市部へのアクセスの良さ等、三木の良さを発信する。</li> <li>• 移住のお試し期間を設ける。</li> <li>• 現在の高齢者大学を、子どもも使えるようにして、子育てキャラバン第二の拠点にする。</li> <li>• 防災意識を高める。</li> <li>• 地域差の少ないまちづくりを進める。</li> <li>• 村の中で、移住者受け入れの意思統一をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の方が講師となって、三木の特産に特化した職業学校を設立してほしい。</li> <li>• ファミリーサポートセンターの値段を下げ、高齢者も利用できるようにしてほしい。</li> <li>• 子どもがまた三木に戻って、子育てをしたいと思えるような、子どもを中心とした教育、考え方をしてほしい。</li> <li>• バスの循環路線を作してほしい。</li> <li>• 大雨の際にため池の状況を1か所で把握できる仕組みを作してほしい。</li> <li>• 三木に帰ってくる方への補助等を行ってほしい。</li> <li>• 教育委員会の方針と違わない総合計画を策定してほしい。</li> </ul>

